

信州大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

「ペムブロリズマブがトリプルネガティブ乳癌患者の末梢血 CD8 陽性 T 細胞に与える影響の解析」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	ペムブロリズマブがトリプルネガティブ乳癌患者の末梢血 CD8 陽性 T 細胞に与える影響の解析
所属(診療科等)	乳腺・内分泌外科
研究責任者(職名)	伊藤研一（診療科長(教授)）
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年3月31日
研究の意義、目的	乳癌患者様のペムブロリズマブ投与前後で患者様の血液検体から得られる免疫細胞等を解析し、ペムブロリズマブが乳癌患者の腫瘍免疫機構に与える影響を明らかにすることを目的とした研究です。 現在、研究対象者の登録および主な解析はすでに終了しておりますが、同研究の結果公表が遅れているため、当初予定していた研究期間の2026年3月31日を2027年3月31日に延長しています。
対象となる方	2022年11月31日から2025年03月31日の期間に、当院で、手術可能な早期トリプルネガティブ乳癌患者のうち、再発高リスクと診断された(臨床病期Ⅱ～Ⅲ)患者で、術前化学療法としてペムブロリズマブを含むレジメンによる治療を施行予定の患者。登録はすでに終了しています。
利用する診療記録 (利用する場合のみ) ／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果などの診療記録／血液検体
研究方法	検体採取後に得られた免疫細胞やサイトカイン(血液中の免疫反応を起こすシグナル)を実験的に解析・検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 大場崇旦(信州大学医学部附属病院乳腺・内分泌外科・講師)

	電話:0263-37-2657
--	-----------------

【既存の検体や診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。